

旧公民館の記憶を未来へ

小学生と作った作品を常設展示します

前面に描かれているのは、今も残る「くすの木」です。こちらは旧公民館予備室の床板をパズルのようにカットして組み合わせたものです。制作事業に参加した小学生がそれぞれ思い思いに色を付けていきました。



作品の下地は旧公民館予備室の黒板です。旧公民館がかつて平塚尋常高等小学校の教室だったことを感じさせるもので、当時の多くの子どもたちが学んだあとが今も残っています。

制作：令和2年1月18日、19日（令和元年8月から準備）

展示：令和2年2月28日から崇善公民館エントランスホールにて

作品の監修は、日本画家の後藤真由美さんで、解体工事が始まる前の部材の取り外しから、下絵の作成など多くの時間をかけて作品制作に関わっていただきました。

この作品が旧公民館での活動の記憶を思い出すきっかけとなれば幸いです。制作に協力して下さった多くのみなさま、ありがとうございました。